

「がんばった中学1年生そして支えた地域の力」 平成25年6月27日 午後2時～午後4時

富合中学校では「合格田の田植」を1年生85人が体験。来春の高校合格を願っての恒例の行事です。学校近くの水田(10畝)は村崎さん(榎津)が準備。餅米苗は本田さん(南田尻)、経費は「農地・水環境保全」の事業として、指導は富合町農業後継者グループ、田植綱は志垣さん(小岩瀬)、終了後の水分補給のジュースはJAの差し入れ。応援に駆けつけた村崎合併特例区長等々。毎回富合の力を感じる行事です。

終了後、生徒を代表して杉山さんは「今日はありがとうございました。いい経験をしました。『食』の大切さも学びました」と感謝の言葉。地域の人たちの思いが伝わったことを感じました。

今後、8月になると2年生が「草取り」、秋の収穫は3年生が鎌を使つての「稲刈り」、12月には杵と臼を使つての「餅つき」が行われます。



「水田を歩くことから」



植えた苗がいいですね



もうベテラン!



どろんこも いいですね



今年もお世話になりました。富合町農業後継者グループ



今後、水管理
田見回りも

緑川で「エビ釣り大会」 平成25年6月9日(日) 主催：青少年育成協議会 後援：富合校区トークの会

「昨夜からの雨を心配しましたが、天気予報を信じて準備しました」と紫垣会長。会場はいつもの所です。緑川新幹線高架橋下。午前9時、竿とえさを受け取り、岸辺に竿を並べて「サー今年は？」と笑顔に。

収穫はどうでしたでしょうか。昨夜の雨で川は濁っていましたが…。約60人が参加。



「見て、エビ釣ったよ」 記念撮影



SL機関車とみんなで挨拶